

未来を開く

長井市立長井北中学校

No60 令和3年11月22日

問われる「責任」と「モラル」

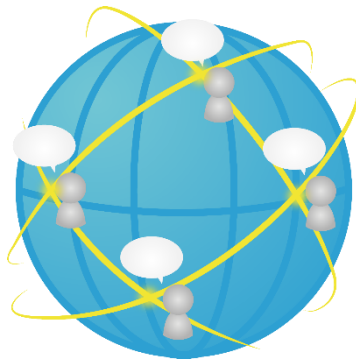
「ICT機器の使用状況等」の調査結果がまとまった。プライバシーを守り、どう活用すべきか、茶の間の話題にしてみたい。

今年度も「生徒の情報端末使用状況について」の調査依頼があり、実施して集約いたしました。

ご承知のとおり、スマホやSNSを介して憂慮すべき事件や事故が全国的に多発しており、この調査を実施する背景となっています。

調査結果については、県や全国で集約され、今後の指導の資料となるものです。

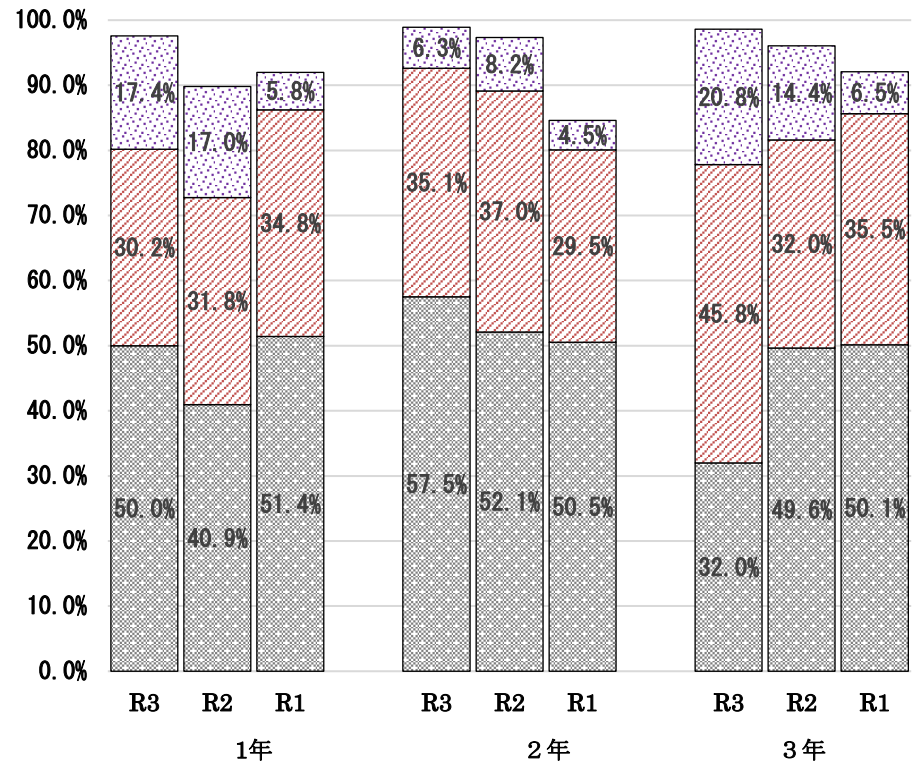
調査項目は以下のとおりです。



- 質問1 インターネットにつながるICT機器を所有している人数(割合)(フィルタリングの有無も含む)
- 質問2 インターネットにつながるICT機器の種類(複数回答可)
- 質問3 インターネットにつながるICT機器の使用状況について
- 質問4 連絡や情報交換を行う相手

調査は、令和3年11月5日に実施しました。調査人数は、1年生86名、2年生94名、3年生72名の合計252名でした(在籍は、266名)。

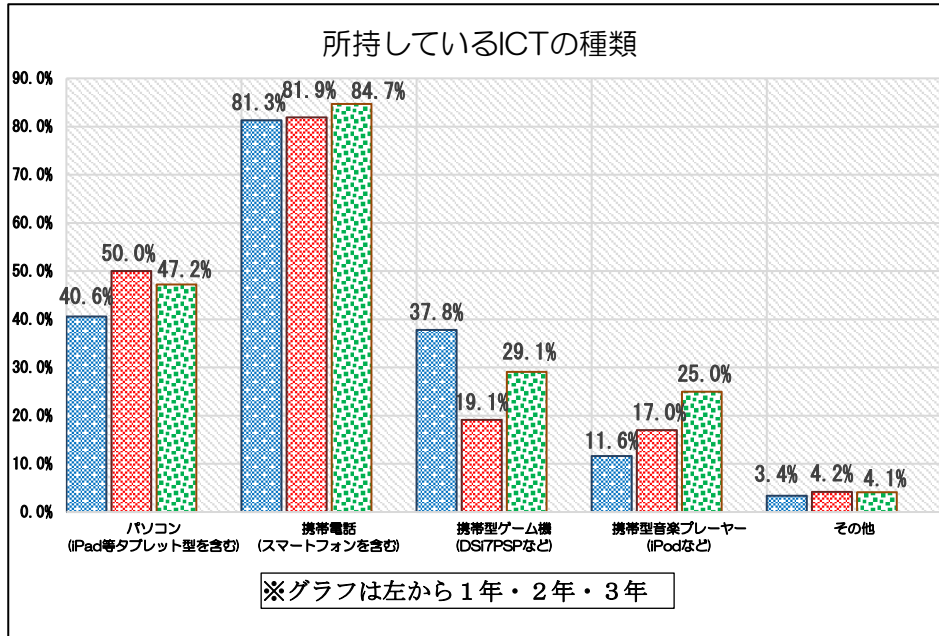
インターネットにつながるICT機器の所有率とフィルタリングの状況



※グラフは上から順に右の項目を示しています
フィルタリングをしているものもある
フィルタリングをしている
フィルタリングはしていない

質問1について ICT機器の所有率は年々増加の傾向になっています。小学校時代からの所有率増加も、影響しているようです。

フィルタリングの未実施率が、58%に迫る学年もあります。ネット犯罪等に巻き込まれないような対策が求められます。

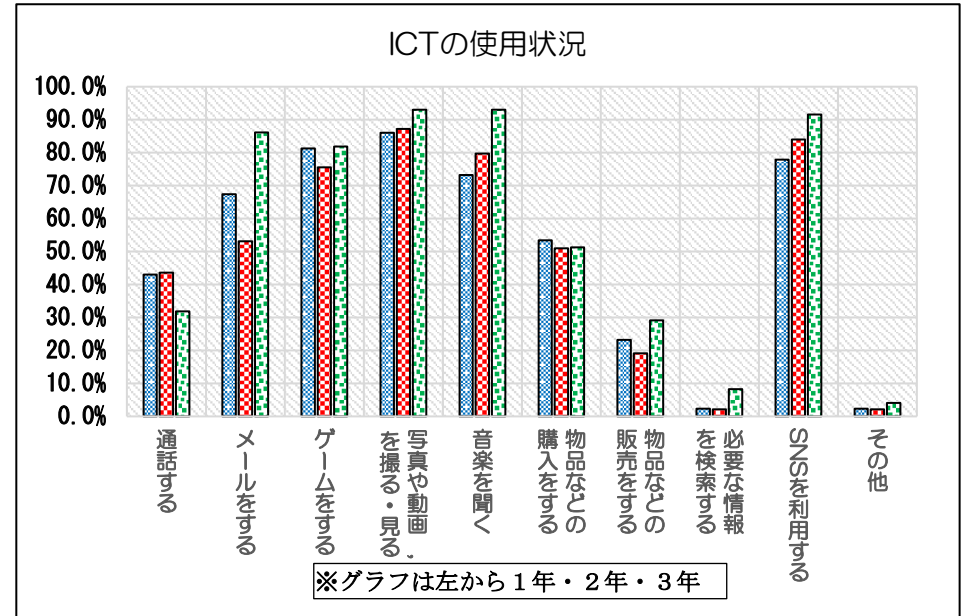


質問2について 全学年をとおして、携帯(スマートフォン含む)の所持率が高くなっています。次いで、パソコン(タブレット含む)、そして携帯型ゲーム機の順となっています。

質問4について 「実際には会ったことがない人」と情報交換を、14%を超える生徒(36人ほど)が行っていました。「実際に会った」と答えた人は15人ほどいました。

「どこでもドア」「何万冊もの百科事典」「誰ともつながる魔法の箱」、夢のような機器を『持った責任、持たせた責任』。自分や他人を傷つけないよう、思いやりと自制心が求められます。

総務省では『インターネットトラブル事例集(2021年版)』や、YouTubeで「上手にネットと付き合いよう」で、トラブル事例の紹介もしており、大変参考になるようです。一度ご覧ください。



質問3について SNS、ゲーム、動画・音楽鑑賞等さまざまな場面で活用されています(健康な生活と利用時間の約束が求められます)。

